

# 図書館は**変**わるのか!?

- GakuNin Library Team 2010活動報告 -

## **GakuNin Library Team**

阿藤品 治夫 (NII)

片岡 真 (九州大)

井上 敏宏 (京都大)

吉田 幸苗 (東京大)

野田 英明 (千葉大)

# 前回までのあらすじ。

- ・ Shibboleth認証は  
「図書館サービスに有効」

でも、コンテンツ  
少ないよね・・・

もっと便利に  
使いたい！

VPNやProxyでも  
いいんじゃない？

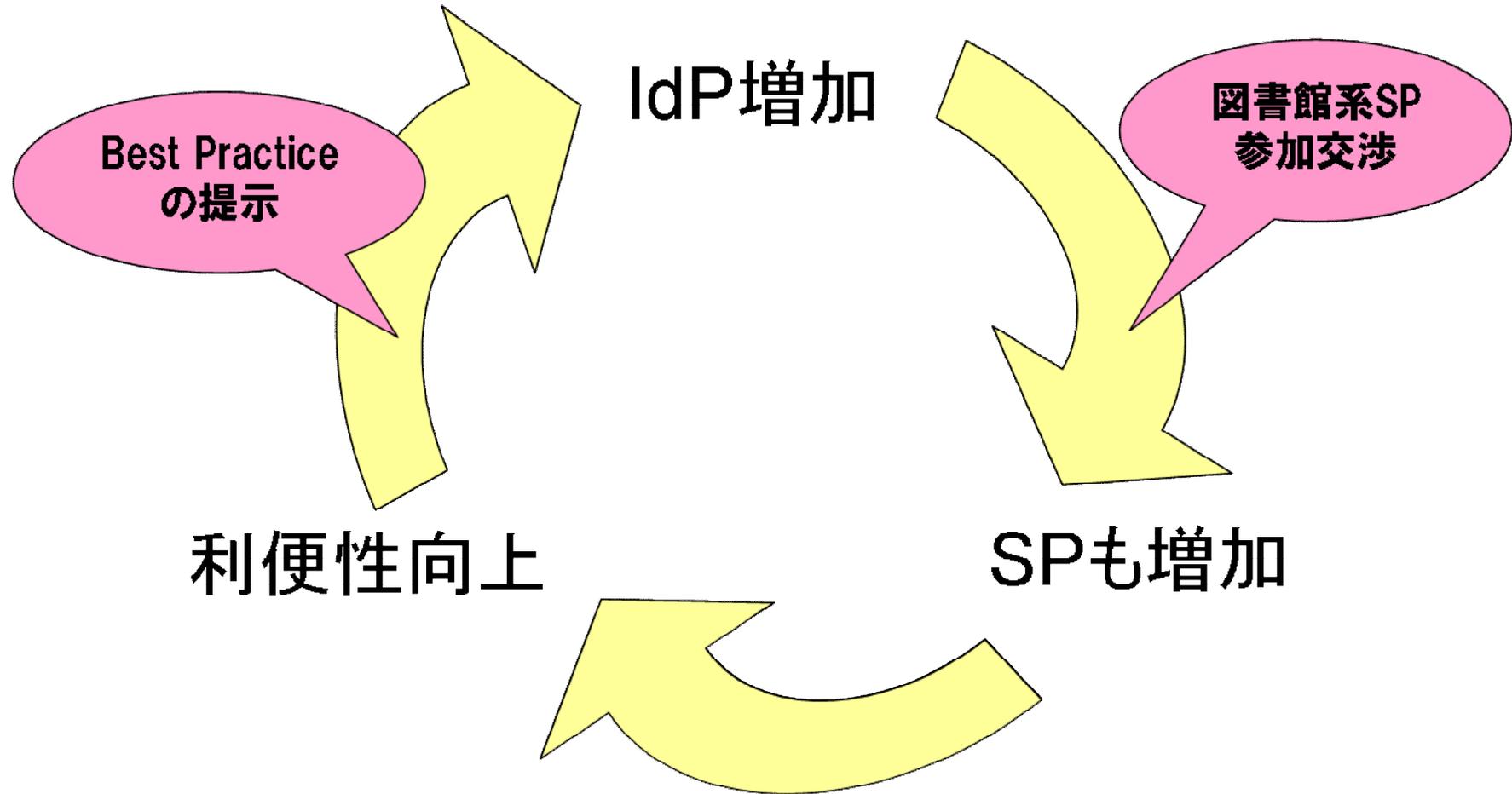
# InCommon Library Subgroups

- ・ 米国 “InCommon” で2007年に結成
- ・ 参加機関のLibrarianを軸に構成
- ・ Shibbolethを活用することで、  
    **図書館サービスの向上を図る**
  - ベンダーとの参加交渉
  - 活用事例の情報共有

# GakuNin Library Team

- ・ モデルは米国 “InCommon Library Subgroups”
- ・ 学認タスクフォース内で  
(いまのところ) 非公式に活動中
  - 国内外の動向を探る！
  - GakuNin対応サービスを増加させる！
  - 図書館的なBest Practiceを構築する！

# GakuNin LTの野望



# まずは米国に学ぼう



# 海外動向調査

- 米国におけるフェデレーション活動を調査  
( **2010年11月1日～8日** )
  - ✓ Internet2 2010 Fall Member Meeting  
米国・欧州における動向の調査
  - ✓ InCommon Library Subgroups  
活動内容に関するインタビュー

# Internet2 Member Meeting

- 2010年11月1日～4日
- ジョージア州アトランタで開催
- Shibbolethをはじめ、グリッドやネットワークなど、高等教育機関の情報環境について議論



# Internet2 Member Meeting

- ・ Shibbolethをもっと便利に
  - 分散したアクセスログの統合・分析ツール  
(カーディフ大学 RAPTOR Project)
  - 非WebアプリケーションへのShibboleth実装  
(Project Moonshotなど)
  - ソーシャルサービス(Facebookなど)との認証連携

# Internet2 Member Meeting

- ・ **本格化するInter-Federation**

- 複数フェデレーションで  
SPを相互提供(eduGAIN)



- Inter-Fed実現に向けた  
課題の調整(REFEDs)



- フェデレーション共同での  
プロジェクトも

# Internet2 Member Meeting

- ・ **最大の収穫。**
  - GakuNinの認知度は高い。
  - **グローバルな動きに参加することで、  
国内の環境を持続的に発展させられる。**

# InCommon インタビュー

➤ 2010年11月5日～6日



➤ シカゴ・Northwestern University にて実施

➤ Thomas Howell氏  
(Northwestern U)

Tod Olson氏  
(U. Chicago)

ほか

# InCommon インタビュー

- ・ サービスプロバイダを増やすために
  - 追加したいサービスがあれば、  
各大学がInCommonの利益を代表して交渉
  - 手続きやメールの雛形を共有
  - Inter-Federationの協働が理想だが・・・

# InCommon インタビュー

- ・ **米国における利用の実際**

- **EZproxy / Shibbolethハイブリッドが一般的**

- **利用の50%は図書館以外の目的**  
**(事務システム、グリッドコンピューティング・・・)**

- **スタッフ、ユーザ共、「デジタル」の利用に格差**

日本も、真似してみよう。



# 対応サービスを増やせ！

- ・ 需要の多そうなサービスをリストアップ
- ・ 海外でShibboleth対応済みのサービスから
- ・ ベンダーごとに分担して直接交渉！
- ・ 現在、10社以上とGakuNin参加交渉中

# プロジェクト体制

## GakuNin Library Team

- ・ サービス拡大戦略の検討
- ・ ベンダーへの1st Contact

## Library service integration coordinator

- ・ ベンダーとの連絡・調整

## Technical Support Team

- ・ フェデレーションサーバによる接続テスト

# 拳がりつつある成果

**IOPscience**



**ProQuest**  
Information and Learning

**KARGER**



A service of the National Library of Medicine  
and the National Institutes of Health

**OXFORD**  
UNIVERSITY PRESS



# 参加機関も増えてほしい

- まだ「ベストプラクティス」とは言えないが・・・
- **図書館向け普及活動**
  - 図書館総合展での事例報告
  - 「カレントアウェアネス」誌への投稿

野田英明[ほか]. Shibboleth認証で変わる学術情報アクセス.

カレントアウェアネス, No.307 (in press.)

# まとめ

- 参加することで、より良い環境が得られる。
- 連携することで、**環境は変えられる。**

Are you a librarian?

Say “Shibboleth”.